

研究の概要

20 24 年 7 月 13 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	ICSI胚における2.1PNの培養成績
代表研究者 (所属・氏名)：	IVFなんばクリニック 生殖技術部門 西野 奈緒美
研究の目的：	3前核（3PN）胚は3倍体のリスクが高いとされ一般的に胚移植に用いられない。しかし、3PN胚には正常2倍体も存在し、特に小前核を含むいわゆる2.1PN胚由来の胚盤胞（BL）の染色体解析では約85%が2倍体とされ、妊娠・出産した例が報告されている。さらに、2.1PNにおける小前核直径の定義は10-15 μm と報告されているものの不明確で、他の2PN直径の大きさとの関係性は調べられていない。そこで、本検討では3PN直径の大小差がどの程度胚発生に影響するのかを調べる為、前核直径差を比率で分けてBLへの発生能を検討した。
調査データ該当期間：	20 23 年 1 月 1 日 ~ 20 24 年 2 月 29 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2023年1月から2024年2月に当院でICSIを施行後、タイムラプスインキュベータにてBLまで培養した57個の3PNと判断された胚を対象とした。また検討では同一胚内で直径の大きい前核2個の平均を基準として小前核直径の比率を60%未満（2.1PN群）、60%以上（3PN群）に分けて2PN群と比較した。検討項目は第一卵割におけるDirect cleavage（DC）率、BL形成率・良好BL率を比較した。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護を行います。研究報告により個人が特定されることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 生殖技術部門 西野 奈緒美
備考	